

雪倉岳

4/1(金) ~ 4/4(月)

メンバー 馬場 修爾

山幸(雨宮氏) スキーツアー参加 現地参加者を含めて13名

四月一日(金) 20時集合 21時 2台の車で 梅池スキー場の旅館に着いたのが午前 2時 すぐ仮眠した。

四月二日(土) ゴンドラを降りてリフトを1本乗り シールをつけて 成城大学の小屋で一休みして 天狗原 白馬大池にシール登行した。いよいよ白馬大池から蓮華温泉へ夏道通りに滑ることになった。始め右に斜滑降でトラバースして新雪の急斜面を滑った。雪が重く 途中からガスで視界が10m位になり

なだれそうな急斜面のトラバースには神経を使う。途中急斜面で帽子を流した人、転倒する人などで時間がかってしまった。先頭をすべる人もルートファンディングが大変である。

新雪を バラレル・シラムタン・ボーゲンを使い分け 天狗の庭に滑り降りた。斜度もゆるくなり とんどん 高度を下げた。天候も回復して温泉の屋根が見えた時はほっとした。三人位の人が露天風呂に入っていた。温泉に着いたときは大分濡れていた。風呂でのカンビールは最高だった。

タイム

リフト終点 10:00 成城大学小屋 11:00 天狗原 12:00

白馬乗鞍岳 13:00 天狗原 14:00 蓮華温泉 16:00

四月三日(月) 今日はいよいよ雪倉岳に登る日だ。快晴で雪倉岳、朝日岳が朝日にかがやいて眼前にくっきり見渡せる。まさに絶景だ。

総勢 12名いよいよ出発だ 兵馬の平までは、かた雪の斜面をあとという間に着いてしまった。

瀬戸川を渡り雪倉の滝の急斜面をキックタンで登り出した。女性 人と男の山スキーは始めての人が転倒したりして大分時間が遅れてしまった。

斜度がゆるくなり頂上が見えるようになり 順調になり待望の(温泉に来て)ようやく三回目で頂上に立つことができた。三百六十度の展望は見事だった。三十分位で行動食を口にし出発した。

朝日岳寄りには白高地沢わがけて滑ることになった。始め斜滑降で赤男山寄りに滑り降りた。途中から気湿も低くなり表面がかたくなって ホーケンでもまがれず転倒する人が多くなりキックタン 斜滑降の連続で白高地沢に下降した途中から雪質もよくなり快調に滑った。

瀬戸川を渡り平馬の平に来た時急にガスがかかりホワイトアウトで道に迷い温泉の尾根コースを通って帰る事になり /人がばてて大分時間がかかり暗くなりヘッドランプをつけての夜の行進だ。

尾根に出て蓮華温泉の電燈を見た時は8時近く電燈で信号をおいてくれた。しかも痛の人二人が テント場まで心配して迎いに来てくれた。

タイム

温泉 7:00 瀬戸川 8:00 雪倉の滝 9:00 頂上 14:00
白高地沢 16:00 平馬の平 17:00 温泉 20:00

四月四日(月) 三四月の木地屋部落までのコースを滑り平岩から電車タクシーの乗り継ぎで杵池スキー場の宿に着き 自動車で代々木山幸に帰った。

タイム 温泉 8:00 削崖峠 9:00 平岩 11:00 杵池の宿
13:00 代々木山幸 20:00

ルート四 雪倉岳

